

平成31年度

# 事業報告書

- 法人本部
- 特別養護老人ホーム
  - ◇看護室
- 栄養室
- 阿木デイサービスセンター
- 居宅介護支援事業所
- ヘルパーセンター
- グループホーム
- 大井シクラメン
  - ◇デイサービス（大井・飯地）
  - ◇ショートステイ
- 地域包括支援センター

社会福祉法人 敬愛会

平成31年度 事業報告 (概要報告)

		敬愛会 法人本部	
①	事業実績	法人運営の基盤強化 各種規程整備 (改正・制定)	施設内監事監査(年2回開催) 外部会計士(定期的診断) 育児・介護休業等に関する規定の改正(働き方改革) 就業規則・給与規定の改正(特定処遇改善加算分の支給) 臨時職員規定・キャリアアップ奨励基金規定の改正 設備関係(ハローワークの助成) 特養及び大井の特殊浴槽入替えを実施 【3年計画】特養入居者用電動ベッドを順次入替え実施 取組 地域貢献事業(車両貸出し・研修室の開放・福祉村への協賛) 事業継続
		項目	実施
②	会議	理事会	6回(6月・6月・8月・10月・12月・3月)開催 6月＝役員(理事・監事)就任・理事長の任命
		評議員会	2回(6月通常評議員会・12月臨時評議員会)開催 6月＝役員(理事・監事)の選任、決算承認
		運営会議	毎月2回開催(24回) 拡大運営会議(次長職以上)3回
③	運営	改善命令処理	平成22年に岐阜県知事より通達を受けた改善命令は、残務処理がすべて完了して県への届け出を行い、了承を得た。
		事故処理	大井シクラメンの誤嚥事故で利用者死亡。(2件)弔慰金の支払い有。
④	研修・事業	研修	法令遵守研修会 職員全体会(5月)
		事業	外部評価 第三者外部評価機関(びーすけっと)によるグループホームの外部評価を実施 指導・監査 法人及び施設の県による定例指導監査は実施なし。
		奨学金制度	奨学金制度の利用＝ナゴノ福祉医療専門学校1名分学費(84万)
		奨励金制度	法人内キャリアUP奨励金制度利用＝6件(24,195円) 貸付金制度利用＝4件(597,440円)・返済免除2件(187,760円)
⑤	その他	取組み報告	1、外国人技能実習制度の円滑な受け入れ態勢と指導者の育成、日本語検定や介護技能評価試験の合格を目指し、通訳と日本語指導の講師を雇用するなど、具体的な方策の実施。 2、外国人技能実習生の二期生宿舍用に、宮田ホーム改修工事を実施。 3、介護人材育成事業所認定制度グレード3から2への取組継続中。 4、満足度調査を実施し、結果を第三者評価委員に報告して意見聴取。
		設備・備品	1、2F非常灯設備の入れ替え(停電灯のLED化) 2、大井シクラメンのショート用居室を1室改築整備(定員13床)
		行事	1、阿木シクラメンの夏祭り開催日を、今年から8月下旬に変更。 2、シクラメン介護福祉フェア2019を、中の島公園で開催のシクラメンそば祭り会場にて出店形式で実施。
		地域	1、春日井邸前の市道に側溝が無く、浄化槽の排水路確保のために、市道横断溝を中津川市に要望し、整備された。 2、シクラメンから宮田地区までの市道に、歩行者や自転車通勤者のための防犯灯(街路灯)を、地域の協力で既存の電柱に10基設置。
⑥	成果と課題	課題	1、空調設備の老朽化に伴う空調入替えについては、1～2年以内に入れ替えが必要であり、約1千万円を見込む。(事務・DSエリア) 2、非常用発電設備に電気自動車のシステムを導入予定で、給電エリアや機器の選定などを検討中。
		次年度の展望(2年度)	1、設備の耐用年数に留意し、施設機能の維持のための計画的な機器の更新や修繕を実施し、設備の維持管理に努める。 2、社会福祉をめぐる動向や法人の運営状況を見極めながら、事業の拡充に向けた検討を進め、託児所や職員宿舍の整備など福利厚生の方針について検討し、段階的に取組む。 3、各事業所の業務負担を精査し、業務の標準化・平準化を図る。

平成31年度 事業報告書

事業部門

特別養護老人ホーム シクラメン

		○特養入退所状況表															
		入所者状況															
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計		
①	利用者中心のサービス提供	入所者	1	3		1	1	0	0	1	1	1	3	1	13		
		内訳	在宅		2						1				1	4	
			老健他	1	1		1	1					1	3		8	
			病院									1				1	
		退所者状況															
				月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
				退所者	1	2	1		1		1		2	3	1	1	13
		内訳	施設	1	1	1		1		1		2	1	1		8	
			病院		1								2		1	4	
			入院他					1								1	
		○平成31年度稼働率 ・入所97.3% ・ショート105.6%															
利用者への取組み・行事など		○ケアプランに基づいた個別ケアの実施（月1回のモニタリング記録の整備） ○生活感や季節を味わい、日常生活にリズムを添える各月の行事を実施															
		計 画						取 組 み									
②	地域福祉への貢献	1	認知症サポーター養成講座への講師派遣				①	介護職員 合計2名派遣（2回/年）									
		2	地域の方々も参加して頂ける行事の計画・実施				①	利用者家族、地域の方々を招き夏祭りを多事業所協力して開催（44家族 111人参加）									
		3	地域に開かれた施設づくり				①	シクラメン祭りにブース出展 施設紹介・高齢者体験コーナー設置 ② ディナー・キッズ 開催 8/4（日） 車いすについて学ぼう（小学生 17名）									
③	職員の資質の向上	1	施設内研修の実施				①	施設内研修 10回実施（前年度13回） 累計参加職員数151人（前年度-53名）									
		2	介護福祉士資格取得の奨励				①	介護福祉士実務者研修 1名履修 介護福祉士資格 1名取得									
		3	喀痰吸引実地研修の実施				①	指導看護師1名（50時間研修修了7名） 50時間研修履修者に対する研修実施（2名）									
		1	利用者・ご家族が安心して過ごして頂ける様、苦情受付体制を整える				①	苦情受付 4件 特養入所利用者より 3件 5.6.9月 ショート利用者より 1件 4月									
		2	利用者の健康管理 感染症の発症・蔓延予防				①	インフルエンザ 発症 入所者1名（H31.13名） ② 事故報告書件数195件（180件）内骨折3件 ヒヤリ・はっと件数 527件（697件） ③ コロナウイルス感染症対策の実施 面会中止（2月～）職員・利用者毎日検温 保健所への報告者 0名									
⑤	健全経営の確保	1	基準に沿った円滑な入所判定と手続き				①	入所判定会議の開催 6回/年 入所申込者の現状把握 1回/月									
⑥	今年度の成果	1	技能実習生の技術習得支援				①	技能実習生の教育と指導の実施（3名）									
		2	感染症マニュアルの整備				①	新型コロナウイルス感染症マニュアル作成									
		3	ショート入所新規利用者の契約				①	新規契約件数30名 利用件数21名									
⑦	来年度への課題	1	人財の育成と定着 技能実習生への教育・指導 パート職員が学べる機会				①	仕事への意欲と向上心を高める関わりを行い、資格取得を支援する。 技能実習生への指導方法の見直し、目標を明確にして知識・技術の継続的指導。 パート職員対象の研修会を計画する。									

		特養看護師	
①	運営目標	※ 利用者様の個別の健康状態を把握し、状態に応じた日常生活が送れるよう支援した。 ※ 最期を過ごす場所としての、環境・ケアが整うよう支援した。 ※ 介護職員との医連携を促進した。	
		項目	取組み
②	管理	健康管理	①日常からリスクを把握しアセスメントしケアプランに活かした。 ②9月30日に利用者健康診断を実施。(レントゲン検査65名、血液検査68名)(退院後や定期受診で検査実施した利用者3名は実施せず) ③新規入所時には健康状態・既往歴の情報収集及びキーパーソンとの面談実施。
		感染対策	①定期的(1回/3ヶ月)な感染対策委員会を開催した。流行期には随時実施した。(6/12、9/11、12/11、12/25、1/22、2/29、3/4、3/23)。マスク着用や面会制限など具体策を話し合い周知した。 ②12月24日に利用者にインフルエンザ発症あり。(A型1名、B型0名発症。12月24日以降発症なし)SS利用者にインフルエンザ発症1名随時感染対策委員会を開催。感染経路の究明収束に向けた状況の把握、対応方法の見直しを図った。 ③感染講習会に参加。看護職員と介護職員によるノコ対応時のガウンテクニクについて実演を行なった。 ④施設マニュアルの見直しに関連した施設外研修に参加し、医務室内での伝達講習の実施と施設マニュアルの見直しを行った。 ⑤国内でのコロナウイルスの流行あり。厚労省の通達に基づき拡散防止に向けた対策を話し合い職員全員検温も行った。
③	処置	ターミナルケア	①亡くなられた利用者12名。(内、施設内7名、病院5名) ②看取りのケアプランに立案時は利用者・ご家族の意向に沿うよう努めた ③定期的に他職種とカンファレンスを行ない看取りの評価を行った。 ④看取り介護が終了後、振り返りのためのデスカンファレンスの実施。 ⑤11月以降、看取り介護以外の退所者もカンファレンスを実施。
④	教育	対応	全部署によるAEDの作動確認を通じて緊急時の使用方法の周知を行った。同事業所内でショート利用者急変の事例あり。5月の看護師会で特養での急変時の対応と、職員への指導について学習会を実施した。
		指導	①年2回の医連携(痰吸引・経管栄養)の確認研修を実施。 ②50時間研修修了者の実地研修を行い3名の実施が可能。 ③施設外研修後の伝達講習実施。岐阜県老人福祉協議会東濃支部の研修担当となったため看護職員だけでなくサブリーダーへの参加も促した。
		その他	①看護職員が担当する委員会や役割において、チャレンジ目標に沿った行動ができ、計画的な実行できた。 ②海外の技能実習生の教育会議に出席し、指導計画の把握や発言を行った。
⑤	会議 委員会 研修	会議	看護師会：1ヶ月に1回開催 法人看護職員会議：2ヶ月に1回開催 褥瘡対策会議：3ヶ月に1回開催 医療安全対策会議：4月、10月
		委員会	感染対策委員会：3ヶ月に1回開催、流行期は随時 褥瘡委員会
		研修計画	研修に参加しレポート提出と共に、看護師会でも伝達を行った。 6/3 叱り方入門：岐阜県老人福祉協議会東濃支部 6/25 ちょっと変わった人との関わり方(スタッフ編)：岐阜県看護協会 7/12 動機付け理論<ホメシカ理論>：岐阜県看護協会 8/9 急変兆候を見逃していませんか?～在宅・高齢者施設向け～：岐阜県看護協会 12/8 感染症研修会：恵那保健所 12/18 中津川の企業を知ろう!業界研究会 in 中津川：中津川工業振興課 1/26 感染対策：日総研

平成31年度 事業報告書

事業部門		栄養室						
基本方針								
①	利用者中心のサービス提供 (利用実績含む)	＜食事形態別人数＞ 3/31 現在 69名(内入院2名)(前年度比±0名)						
		主食	米飯 13名(-6)	軟飯 16名(+5)	粥 23名(-1)	ミキサー粥 9名(+1)	経管栄養 3名(-1)	その他 3名(+1)
		副食	軟菜 15名(-4)	刻み 20名(±0)	極刻み 19名(±0)	ミキサー 7名(+2)	ソフト 1名(±0)	その他 2名(+1)
		計 画		取 組 み				
②	地域福祉への貢献	1	地域の方の低栄養を予防する	①	配食サービスの献立・献立表作成実施。			
③	職員の資質の向上	1	専門職としての知識向上を図る	①	衛生講習研修に参加。(1回) 保健所研修に参加。(1回)			
				②	地域栄養士会での情報交換や勉強会実施は、今年度は開催されず。			
④	安全管理の徹底	1	食中毒・感染症予防	①	衛生講習(手洗い・食中毒・ノロウイルスなど)実施。(2回)			
		2	非常事態への準備	②	消毒液は通年アルペットとし、手指消毒の徹底、手洗いの注意喚起行う。			
⑤	健全経営の確保	1	栄養ケア・マネジメントの実施	①	食事摂取状況や身体状況把握。低栄養予防の為の計画、実施は9月まで実施。その後は正規栄養士2名が産休、育休中の為、評価は実施できているが計画書の作成は行っていないので加算はとっていない。 加算：14点/日/人			
				②	月1回会議を実施。			
		2	利用者様に合った献立作成	①	利用者様の栄養・健康状態を維持でき、食事を楽しんで頂けるような献立作成に努めた			
				②	各疾病に配慮した療養食献立作成実施。 (糖尿病食、心臓病食など) 3月時点 糖尿病食7名 心臓病食(減塩食)3名実施。 加算：18点/日/人			
				③	可能な限り、個々人への対応を実施。 (アレルギー、嗜好、体調など)			
		3	食事での改善点の検討や新しい提案を行う	①	食事委員会月1回予定通り実施。			
				②	厨房と常時連携を取り合うよう努めた。厨房職員の入れ替えが落ち着き昨年よりは連携がとれるようになった。			
⑥	その他	1	食事を楽しんで頂ける催し	①	忘年会は感染対策によりユニット単位で実施。年間行事等計画通りほぼ実施した。			
				②	季節に合わせた行事食の提供継続実施。			
				③	個々人の誕生日のお祝い継続実施。			
		2	大井シクラメンDS、GHの食事に関する対応	①	献立・献立表作成実施。大井シクラメン給食委員会へ参加(7月まで)。その後は正規栄養士2名が産休、育休中の為、委員会は栄養士参加無く議事録にて確認。			

・1/10 厨房内の冷凍庫故障の為、新しい物購入した。

事業部門		阿木デイサービスセンター												
利用者中心のサービス提供 (利用実績含む)	【利用者数】 (単位：名)													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
	支援1 人数/ 延人数	7/ 29	6/ 26	6/ 24	6/ 26	6/ 25	6/ 22	6/ 27	6/ 24	6/ 24	5/ 25	5/ 20	71/ 291	
	支援2 人数/ 延人数	9/ 56	9/ 68	9/ 59	9/ 67	9/ 63	9/ 62	11/ 80	10/ 65	9/ 60	9/ 55	8/ 51	7/ 43	108/ 729
	介護1 人数/ 延人数	28/ 213	29/ 228	31/ 216	30/ 229	27/ 203	26/ 189	26/ 209	27/ 206	29/ 207	29/ 204	29/ 227	26/ 210	337/ 2541
	介護2 人数/ 延人数	35/ 293	34/ 293	28/ 223	28/ 239	27/ 233	27/ 213	24/ 211	26/ 216	25/ 201	23/ 188	22/ 171	23/ 182	322/ 2663
	介護3 人数/ 延人数	15/ 87	15/ 91	15/ 100	13/ 88	16/ 118	20/ 147	21/ 179	22/ 179	16/ 122	17/ 120	16/ 140	15/ 142	201/ 1513
	介護4 人数/ 延人数	6/ 41	5/ 50	6/ 58	7/ 73	8/ 81	9/ 87	8/ 70	7/ 62	7/ 52	6/ 52	5/ 48	6/ 38	80/ 712
	介護5 人数/ 延人数	4/ 42	4/ 41	3/ 30	3/ 29	3/ 23	3/ 30	3/ 28	3/ 23	3/ 20	3/ 18	3/ 22	3/ 22	38/ 328
	総合事業 合計	16/ 85	15/ 94	15/ 83	15/ 93	15/ 88	15/ 84	17/ 107	16/ 89	15/ 84	15/ 80	13/ 70	12/ 63	179/ 1020
	介護 合計	88/ 676	87/ 703	85/ 659	87/ 692	82/ 667	85/ 607	80/ 652	75/ 605	72/ 557	74/ 523	77/ 593	85/ 665	967/ 7435
	合計	104/ 761	102/ 797	98/ 710	96/ 751	96/ 746	100/ 750	99/ 804	101/ 775	95/ 686	93/ 662	88/ 678	85/ 657	1157/ 8777
	【曜日別一日平均利用者数】 (単位：名)													
	日	月	火	水	木	金	土							
	0	30.4	28.8	27.3	25.5	32.2	26.2							
*可動日数 <b>309日</b> 1日平均 <b>28.4名</b> (目標：29.1名)														
*利用者のニーズに合わせ入浴・機能訓練・余暇活動を提供。														
		計 画					取 組 み							
②	地域福祉への貢献	1	地域ニーズに沿ったサービスを充実させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防事業「あんきなくらぶ」への参画</li> <li>・認知症サポーター養成講座 講師</li> <li>・地域個別ケア会議への参加</li> </ul>										
		2	地域交流の活用・活動に勤める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの受け入れ：7団体(延べ13回)</li> <li>・見学者の受け入れ：4名</li> <li>・神坂小5年生、阿木保育園園児との交流</li> </ul>										
③	職員の資質の向上	1	専門職としての資質の向上を図り、専門性の高いデイサービス	[施設内研修] ・部署間交流研修 ・接遇研修 ・レクリエーション ・高齢者虐待防止研修 ・起居移乗動作介助研修 [施設外研修] ・中津川市介護予防従事者研修 ・認知症講演会 ・高齢者虐待防止研修 ・老施協全国研究大会 ・東海北陸ブロックカントリーミーティング ・県デイ協研修会(全体・東濃支部)										
		1	利用される方や家族が安心・安全に利用していただけるサービス提供	リスクマネジメント委員会開催(1回/月) ・介護事故：34件(転倒21件、外傷12件) ・ヒヤリハット：186件 ・苦情対応：11件 ・車両事故：6件⇒安全運転講習会実施(12/12)										
④	安全管理の徹底	2	感染症の予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員手洗い奨励(日常の声かけ・研修会参加)</li> <li>・利用者手指消毒(来所時・食前・おやつ前)</li> <li>・テーブル・手すり等の消毒</li> <li>・新型コロナウイルス対応(利用者乗車前検温)</li> </ul>										
		3	災害時対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常災害対策 7/3救命講習 3/30図上訓練</li> </ul>										
		1	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の見直し：月1回 デイ運営会議</li> </ul>										
⑤	健全経営の確保	2	デイ利用者の確保や選ばれる施設作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度調査の実施</li> <li>・生活相談員による施設外活動(担当者会議等への参加・他事業所との交流)</li> </ul>										
		3	経費の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務効率化を図るため、随時業務見直し実施</li> </ul>										
		⑥	成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎利用者からの満足度は過半数を超えて高く概ね維持されている。</li> <li>◎個別ケアに向けた環境整備に関して、次年度実行に向けて計画見通しができた。</li> <li>《課題》満足度は比較的高いものの、利用時の具体的な内容について周知が不足。個別ケアに関して、さらなる充実を図る必要がある。次年度 計画書の質を高めるとともに広報を強化していく。</li> </ul>										

平成 31 年度 事業報告書

事業部門		居宅介護支援事業所 シクラメン			
基本方針					
①	利用者中心のサービス提供 (利用実績含む)	要介護1～5 実績人数 1361名(月平均 113名) 要支援1～2 実績人数 284名(月平均 23名) 職員数 4、2人(加算Ⅱ) (一人担当平均月/32件)			
		計 画		取 り 組 み	
②	地域福祉への貢献	1	地域を考え、地域を作る	①	地域ケア会議への参加 阿木ふるさと福祉村との連携 恵那/飯地自治会ケア推進会議への参加
		2	認知症の方も安心して暮らせる地域・福祉と医療関係機関との連携	①	RUN 伴+協力・参加
		3	在宅医療と福祉を考える事を地域へ発信	①	阿木診療所とカンファレンス(毎月) 中津川市民病院と合同研修会(年2回) 病院相談員・老健相談員との連携
		4	地域力の底上げ	①	ケアマネ実務研修の実習生受入れ協力
③	職員の資質の向上	1	専門職として必要な情報収集	①	県居介協等研修会参加 ケアマネ部会(恵那・中津川)への参加
		2	居宅での情報共有・改善提案	①	サービス提供の為の留意事項に掛かる伝達会議等を目的とした週1回以上の会議開催
		3	事例検討より学ぶ	①	事例検討会(他法人間研修) 地域個別ケア会議の事例提供・参加 虐待研修会への事例提供・参加
		4	障害分野・成年後見との連携	①	障害保険・成年後見人との相談・連携
④	安全管理の徹底	1	ケアマネサービスについて	①	運営規程・重要事項の見直し
		2	ケアマネの質の向上	①	法令順守・守秘義務・相談様式見直し 介護支援専門員の研修への参加 居宅内での相談・意見交換
		3	利用者、家族が安心してサービスが受けられる	①	個人情報の漏えい防止への意識の徹底。 (個人ファイルの管理徹底)
⑤	健全経営の確保	1	サービスの質の向上、利用者から選ばれる居宅に努める	①	運営基準に沿った業務管理
		2		②	処遇困難な方の受入れ等
		3		③	24時間連絡体制の確保と必要時相談に応じる体制の確保
成果と課題		事業所加算を今年度も継続でき、主任ケアマネ3名体制により質の高い事業所として地域に貢献し、効率の良い業務を行った。今後も介護保険だけに頼らず地域の資源を活用していく。阿木診療所とのカンファレンスを毎月定期的に開催できた。年度終わりころから新型コロナ蔓延防止により、通常業務から変更になり、今後も新型コロナ蔓延を注意しての業務展開が求められる。			

平成31年度 事業報告書

事業部門		ヘルパーセンター																																																						
基本方針		<p>・土日の営業、早朝夜間対応がある事業所として、また特定地域加算事業所、特定事業所加算のある事業所として、ケアマネジャーとの連携を密にしなが、登録ヘルパーの活動により、出来る限り対応。ご利用者の意思、人格を尊重した活動内容、計画的な職員研修、定例ミーティングを実施し誠意を持ったサービス提供を実施。</p>																																																						
①	利用者中心のサービス提供 (利用実績含む)	<p>職員体制                      管理者（1.兼務）常勤（2）登録（13・内特養との兼務2）                      サービス提供地域                      中津川市（主に阿木地区）                      恵那市（主に大井、長島、笠置、飯地、中野方、武並、三郷、岩村）</p> <p>利用者実績数（延べ回数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>54</td> <td>53</td> <td>53</td> <td>52</td> <td>55</td> <td>62</td> <td>59</td> <td>57</td> <td>48</td> <td>51</td> <td>49</td> <td>51</td> <td>644</td> </tr> <tr> <td>前年</td> <td>53</td> <td>56</td> <td>59</td> <td>58</td> <td>53</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>52</td> <td>48</td> <td>55</td> <td>56</td> <td>51</td> <td>641</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 訪問延べ件数 7780件（前年-32件）                      訪問時間合計 6894：前年比 -161時間 身体介護サービスの増</p>													月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	人数	54	53	53	52	55	62	59	57	48	51	49	51	644	前年	53	56	59	58	53	50	50	52	48	55	56	51	641
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計																																									
		人数	54	53	53	52	55	62	59	57	48	51	49	51	644																																									
		前年	53	56	59	58	53	50	50	52	48	55	56	51	641																																									
計 画						取 組 み																																																		
②	地域福祉への貢献	1	地域のニーズに沿ったサービス提供	②	地域の関係機関との連携を密に実施。可能な限り提供可能時間帯におけるサービスの提供を行う。年末年始休業中の特別対応 実績0件																																																			
		2	障害者を家族に持つ高齢世帯への支援	③	ケアマネと連携し、障がい者家族の対応																																																			
③	職員の資質の向上	1	個別研修計画により、新人研修、スキルアップ研修を行い、質の高いサービス提供を行う	①	・サービス提供責任者向け研修参加 ・事業所内研修2回実施。介護知識、技術の向上 多職種連携研修 参加																																																			
				②	・地域包括支援センターや、居介協、地域福祉連絡会主催の研修へ参加																																																			
④	安全管理の徹底	1	全職員健康診断 年1回 全職員腸内細菌検査 年2回	①	11月実施																																																			
				②	4月、10月実施																																																			
⑤	健全経営の確保	2	感染症予防	①	全職員インフルエンザ予防接種																																																			
				②	研修参加し、感染予防に努めるマニュアルに沿ったサービス提供の実施																																																			
⑤	健全経営の確保	1	サービスの質の向上	②	定例ミーティングにおける事例検討 各種研修会への参加・事業所内研修会実施																																																			
		2	新規利用者の受け入れ	②	ケアマネジャーと連携し可能な限り対応																																																			
		3	新規登録ヘルパーの養成	③	新規登録ヘルパー 採用なし (特養兼務から専任 1)																																																			
⑥	成果と課題	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度事業所内研修2回実施</li> <li>生活援助減り身体介護が増加</li> <li>ケアマネジャーとの密な連携</li> </ul>	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅介護期間の短縮傾向あり、介護保険外サービス、高齢者住宅等検討</li> <li>早朝夜間対応ができるヘルパーの確保</li> </ul>																																																			

平成31年度 事業報告書

事業部門		グループホーム	
基本方針			
②	利用者中心のサービス提供 (利用実績含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1ユニット9名 利用率97.7% 1日利用平均8.8名</li> <li>・入退所状況 退所2名 8/16 シクラメン特養へ転居・11/16 広齊寮へ転居 入所2名 8/28 ~入所(中津川市内在宅・女性) 12/8 ~入所(阿木地区在宅・女性)</li> <li>・ショートステイの実施:空床利用にて(退所~新規入所までの期間)2名。 12月1日~3日 2泊/12月4日~6日 2泊/どちらも阿木・独居・女性</li> <li>・施設内事故報告・骨折による入院1名。(6/11~7/10 市立恵那病院入院)</li> <li>・4月27日春の家族会を開催、家族代表2名選出・11月9日 秋の家族会兼五平餅会</li> <li>・中津川市のグループホーム部会に参加し他のGHとの連携を取るようにした。</li> <li>・運営推進会議6回開催(第6回は感染症対策のため書面による報告)</li> <li>・外部評価をNPO法人びーすけっとにより実施(11月20日)大きな指摘なく終了した。</li> <li>・五感健康法を毎月1回(4月~11月まで・12月以降感染症対策のため制限。)</li> <li>・4月 じいばあそば打ち交流会 ・9月阿木地区敬老会 ・10月阿木区民運動会</li> <li>・11月ラン伴・オレンジカフェ・阿木小学校交流会/など地域の方との交流を実施。</li> </ul>	
		・計 画	取 組 み
②	地域福祉への貢献	1 阿木地区・地域交流	④ そば打ち交流会・敬老会・運動会・小学校交流会・オレンジカフェ等参加し交流を深める
③	職員の資質の向上	1 実務者研修	③ 今年度受講者なし
		2 各種研修・資格習得	② 介護福祉士実務者研修1名受講(受験は見送り)
		3 月1回の事業所内研修	① 毎月テーマを決めて実施。GH部会研修会や特養の施設内研修にもできるだけ参加。
④	安全管理の徹底	1 事故防止	② <ul style="list-style-type: none"> <li>・転倒事故 1件 骨折事故 1件</li> <li>・ヒヤリハット13件、事故報2件</li> <li>・GH会議や運営推進会議にて報告行う。</li> </ul>
		2 感染症の対応	① <ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老会感染症マニュアルに準じて整備。(コロナウィルス感染対策マニュアル)</li> <li>・インフルエンザ発生(0)</li> </ul>
		3 防災訓練	② 避難訓練 ⇒日中の想定・ホーム内のみ ② 緊急伝言訓練3月(特養発信にて連絡網で) ③ 夜間対応想定避難訓練 ⇒実施出来ず。(来年度の課題とする。)
⑤	年間行事計画	1 季節感のある行事	④ 4月花見・5月よもぎ餅作り・6月日帰り旅行・朴葉寿司作り・8月夏祭り・流しそうめん・9月ぶどう狩り・10月野外食・11月五平餅会(さんま焼き)・12月忘年会・1月初詣・2月節分会・吊るし雛見学
		2 誕生会	① 入居者の誕生日に合わせ行った。
		3 個別外出	③ 11月に1名~2名にて実施(自宅・昼食外食・買い物外出等)⇒9名実施。
⑥	成果と課題	成果 空床ショートの実施。 個別外出の全員実施。	課題 避難訓練・緊急時の対策を整備していく。転倒事故対応策の検討。

平成31年度 事業報告書

事業部門  
基本方針

デイサービスセンター 大井シクラメン

【利用者数 (単位：人)】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象	人数	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15
	延人数	9	9	3	4	4	4	5	4	4	4	4	5	59
要支援1	人数	3	3	3	3	3	3	3	6	5	4	5	5	46
	延人数	16	15	15	14	13	9	13	20	19	13	18	20	185
要支援2	人数	6	4	6	6	6	5	6	6	6	6	5	5	67
	延人数	43	31	35	46	47	42	46	42	41	46	34	43	496
要介護1	人数	13	13	12	11	11	13	14	13	15	15	16	17	163
	延人数	100	95	74	79	89	87	103	90	99	94	113	116	1139
要介護2	人数	21	20	21	20	21	21	19	21	19	18	18	18	237
	延人数	175	176	180	194	196	182	179	189	176	133	154	157	2091
要介護3	人数	14	11	12	11	10	10	12	11	13	14	15	15	148
	延人数	92	84	77	74	76	79	96	83	79	85	92	108	1025
要介護4	人数	13	12	14	12	14	14	14	13	14	15	12	12	159
	延人数	69	67	75	78	92	89	90	87	90	91	65	68	961
要介護5	人数	8	7	8	7	7	7	5	6	5	4	5	6	75
	延人数	46	40	51	45	45	47	43	42	26	22	26	25	458
合計	人数	80	72	78	71	73	74	74	77	78	77	77	79	910
	延人数	550	517	510	534	562	539	575	557	534	488	506	542	6414

\*1日平均利用者数 17.7人 [稼働率 70.9%] (前年度比+1.2人)

		計 画	取組み
①	ニーズに添えるサービス提供	1 リハビリテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>阿木シクラメンとの連携により、2つの機能訓練加算を取得。</li> <li>介護職員による運動指導の実施。</li> </ul> ⇒ H31年度後期、利用者の心身機能維持向上が出来ているという評価により、令和2年4月より「ADL維持等加算Ⅱ」が取得可能となる。
		2 通常利用時間以外の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>「昼食後帰宅」という時短利用を可能にしたことにより、新規2人増加。(うち1人は後、通常利用となる。)</li> <li>H31年4月より人員配置基準の為、延長利用料金を全額自己負担に変更。(この変更により、利用者1人が週2回利用が週1回利用に変更となる)</li> <li>時間延長サービス利用者実績 [月平均：実人数8人、延人数16人]</li> </ul>
		3 個別レクリエーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>希望者による個別外出を実施 [9月喫茶外出・3月阿木つるし雛見物]</li> </ul>
②	信頼されるサービス提供	1 介護事故ゼロのサービス提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故防止会議の開催(1回/月)</li> <li>事故8件 ・ヒヤハット27件</li> <li>【重大事故1件】</li> <li>* 5/4 昼食中の誤嚥事故(7/28死亡)</li> </ul>
③	人材育成(共通)	1 キャリアアップ制度に応じた人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員各自が業務目標を定めて取り組む。</li> <li>1人が目標の介護福祉士資格を取得。</li> </ul>
④	地域交流活動(共通)	1 広報紙の定期発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>大井シクラメン広報：年1回発行(デイ・ショート利用者に配布)</li> <li>飯地シクラメン広報：年7回発行(飯地町全世帯に配布)</li> </ul>
		2 納涼祭の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>8/24(土)開催</li> <li>利用者参加32人(デイ21人、ショート11人)</li> <li>一般来場者数 約150人</li> </ul>
⑤	環境整備(共通)	1 給湯器の買替	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算の都合により次年度に延期。</li> </ul>
		2 特殊浴槽の買替	<ul style="list-style-type: none"> <li>4/1 特殊浴槽買替実施。</li> </ul>
⑥	フレイル型サービス 飯地シクラメン	1 飯地町交流活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>週2日間稼働(火・土曜)</li> <li>年間延べ利用者数540人、実人数9人</li> <li>地域交流事業への参加(協賛)</li> <li>*6/15 ほたる祭り出店(ヨ-ヨ-釣り)</li> <li>*8/14 夏祭り出店(輪投げ・アゲくじ)</li> </ul>
成果と課題		〈成果〉・リクライニングチェア12脚を購入し5/1よりデイホール環境を変更する。結果、もたれて休むことが可能となり、簡易ベッドおよび座席表を廃止することが出来、デイホールの安楽化、および業務削減が図れた。 〈課題〉・利用者自らが、機能訓練等を進んで取り組めるプログラムを展開すること。・飯地シクラメンの木曜営業再開(週3日営業)のための取り組み。	

【利用者数 (単位：人)】		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
要支援2	人数	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5
	延人数	2	2	2	2	5	0	0	0	0	0	0	0	13
要介護1	人数	6	4	5	7	6	7	8	3	4	4	3	2	59
	延人数	20	14	15	21	22	24	29	11	17	13	7	5	198
要介護2	人数	11	10	11	11	10	11	10	14	14	14	13	11	140
	延人数	61	51	47	45	62	66	55	78	79	85	83	79	791
要介護3	人数	14	14	12	13	13	15	16	17	18	19	17	16	184
	延人数	78	83	85	78	78	86	97	93	121	117	121	117	1154
要介護4	人数	7	7	6	6	5	7	7	9	7	6	7	7	81
	延人数	71	75	69	61	57	63	54	59	47	51	57	50	714
要介護5	人数	8	9	11	11	12	11	10	10	8	6	7	6	109
	延人数	106	115	105	106	135	119	132	92	72	64	65	59	1170
合計	人数	47	45	46	49	47	51	51	53	51	50	48	42	580
	延人数	338	340	323	313	359	358	367	333	336	331	334	310	4042

\*1 日平均利用者数 11.0人 [稼働率 85.0%] (前年度比+1.0人)

		計 画		取 組 み	
①	ニーズに添えるサービス提供	1	利用者一人一人に適したサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期(月 1 回)カンファレンス実施</li> <li>・一人ひとりの状態把握とニーズが捉えられた。</li> </ul>	
		2	居室増床	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R1 年 6 月、居室改装により定員 1 人増床。(12 床から 13 床へ)</li> </ul>	
		3	緊急ショートステイ受入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H31 年度は緊急受入れ無し。</li> </ul>	
		4	レクリエーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時に体操を実施。</li> <li>・季節の貼り絵、折り紙等の余暇活動の実施。</li> <li>・希望者に足マッサージ・足湯の実施。</li> </ul>	
②	信頼されるサービス提供	1	介護事故ゼロのサービス提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故防止委員会の開催(1 回/月)</li> <li>・事故 25 件 (うち転倒事故 17 件)</li> <li>・ヒヤリハット 11 件</li> <li>【重大事故 1 件】</li> <li>* 12/24 要介護5・102 歳の利用者、痰がらみによる窒息意識消失事故 (12/26 死亡)</li> </ul>	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・7/21 利用者 1 人がノロウイルス感染発症。その後接触のある利用者 6 人からノロウイルス感染の疑いがある症状が発症する。</li> <li>* 7/24~7/27 入所受入れ中止。</li> <li>* 7/27 全利用者退所。</li> <li>* 7/28 感染対策(消毒)を実施。</li> <li>* 7/29 通常稼働。〈恵那保健所報告済〉</li> </ul>	
③	人材育成(共通)	1	キャリアアップ制度に応じた人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員各自が業務目標を定めて取り組む。</li> <li>・1 人が目標の介護福祉士資格を取得。</li> </ul>	
④	地域交流活動(共通)	1	広報紙の定期発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大井シクラメン広報：年 1 回発行(デイ・ショート利用者に配布)</li> </ul>	
		2	納涼祭の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8/24 (土) 開催</li> <li>・利用者参加 32 人(デイ 21 人、ショート 11 人)</li> <li>・一般来場者数 約 150 人</li> </ul>	
⑤	環境整備(共通)	1	給湯器の買替	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算の問題あり次年度に延期。</li> </ul>	
		2	特殊浴槽の買替	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4/1 特殊浴槽買替。</li> </ul>	
成果と課題		<p>〈成果〉居室改装を行い、6 月より利用定員を 1 人増となる。(12 人→13 人) それにより、利用者数の増加と、入退所の部屋移動がスムーズに出来るようになった。</p> <p>〈課題〉・R1 年 12 月より、職員不足のため日曜日の施設送迎による入退所を中止した。日曜日の職員配置増加が望まれるが、現状は難しい。</p> <p>・転倒事故のうち 7 割が夜間帯に発生している。また、それに加えて【重大事故 12/24】については、状態的にはターミナル期で特変の可能性はあった。今回 20:15 の発生で夜勤者の他、遅番 1 人が勤務していたため 2 人で適切な対応が出来た。</p> <p>⇒ 課題として、夜勤者 1 人の時間帯に事故が発生した際の、迅速な事故対応が求められる。</p>			

平成31年度 事業報告書

事業部門 基本方針		中津川市シクラメン地域包括支援センター				
		計画	業務	取り組み		
利用者中心のサービス提供 (利用実績含む)	1	総合相談事業	総合相談支援業務	①	相談件数【309件/年】 (内訳/訪問150件、来所32件、電話127件)	
	2	高齢者実態把握事業		②	相談実人数【104人/年】	
	3	台帳・記録の整備		①	把握件数【109件/年】	
	4	各種サービスの情報提供及び利用啓発と調整		①	高齢者台帳・記録の整備、管理	
地域福祉への貢献	1	地域関係機関との連携	総合相談支援業務	①	相談協力員懇話会の開催【1回/年】	
				②	関係機関会議への出席	
				③	地域包括支援ネットワーク会議及び事務局会議の開催・取り組み	
			④	包括的・継続的ケアマネジメント業務(地域ケア会議)	④	地域ケア会議、地域ケア個別会議の開催【5回/年】
			⑤	医療介護連携	⑤	阿木診療所、居宅介護支援事業所とのカンファレンスへの参加【9回/年】
			⑥	総合相談支援業務(生活支援体制整備含)	⑥	生活・介護支援サポーターに関わる取り組み、定例会の開催【6回/年】
	2	地域住民に対し地域づくり、介護予防等への働きかけを行う	介護予防事業	⑦	NPO法人阿木ふるさと福祉村による事業への協力	
				①	介護予防教室開催【31回/年】延べ参加541人 その他出前講座開催【2回/年】	
				②	介護予防体操指導士養成研修への協力【1回/年】	
	3	認知症に関する情報提供及び理解の普及啓発を図る	認知症高齢者及び家族への支援業務	③	あじさいの会立ち上げ運営への協力【6回/年】	
				①	介護者の集いの開催【3回/年】	
				②	認知症サポーター養成講座開催【4回/年】	
③				あぎオレンジカフェ(認知症カフェ)開催【3回/年】		
4	虐待防止、権利擁護等の推進	権利擁護業務	④	RUN伴協力、参加		
①	消費生活、成年後見制度への相談・連絡等の連携					
職員の資質向上	1	各種研修会、会議参加		①	市支援センター部会、市包括連絡会、包括運営協議会、包括職員各種研修会、その他研修への参加	
安全管理の徹底	1	地域住民等が安心して利用できる様に務める	個人情報保護	①	守秘義務等法令の順守、包括機能評価の実施と検証	
健全経営の確保	1	サービスの質の向上	組織運営体制、利用者満足向上	①	安定した体制の確保、包括機能評価の実施と検証	
その他	1	その他の取り組み		①	機関紙発行、ホームページの作成と更新	
成果と課題	31年度はセンターの使命である地域包括ケアシステム推進を意識しながら多岐にわたる事業を継続し行った。年度終盤では新型コロナウイルスの感染拡大防止を鑑み、いくつかの事業を中止とした。次年度については、継続した取り組みの他、新阿木交流センターでの事業実施や阿木診療所との新たな取り組みを行う事で包括ケアシステムの具体化をより一層図っていく。					